

# 知事賞

## たいせつなみず

菊川市立堀之内小学校

一年 <sup>あらい</sup>新井 さん

わたしがてをあらうとき、みずをだしっぱなしにすると、おかあさんは「みずがもったいない」といいます。すいどうからは、たかさんのみずがでてるのに、なんでもったいないのか、わたしにはわかりませんでした。あるひ、おふろのなかでおかあさんがはなしをしてくれました。

「こんなにきれいなおみずがたくさんあるのはしあわせなことなんだよ。がいこくでは、すいどうのおみずがぜんぜんきれいじゃなくて、のんだらおなかをこわしちゃうくにもあるし、とおくのかわまでまいにち8じかんみずをくみにいくこどももいるんだよ。」

そんなにがんばって、どろみずしかないとかわいそうです。わたしのいえのみずをそのこたちにとどけてあげたいとおもいました。でも、わたしにはちよくせつとどけることができません。どうしたらいいのかかんがえると、いつもきいていた「みずがもったい

ない」ということばをおもいだしました。わたしはむだづかいをすると、ほかのほんとうにひつようなひとのぶんがへってしまいそうです。だったらだいにひつようなぶんだけつかうようにしたら、もしかしたらみんなにとどくかもしれません。だからわたしは、みづをたいせつにつかいたいとおもいます。すいどうのみづをだしっぱなしにしないし、みづをたいせつにしているひとがいたら、なんでたいせつかをおしえてあげたいとおもいます。